



高知市教育研究所教職員研修班 令和3年1月15日発行 No.146

「研修便り」は、高知市立学校教職員研修の成果・内容の共有、教育研究所から発信する情報の周知を目的として、発行していきます。

令和元年・2年・3年度 高知市研究協力校(教育課程)研究発表会

令和2年11月6日(金)実施

人とのかかわりを深め,共にのびる子どもを育てる ~体育科における,主体的・対話的で深い学びの探究~

研究発表

「体育を学ぶ喜びを実感させる ための授業づくり」の四つの視点

単元(教材)デザイン

仲間同士の関係性(かかわり)デザイン

環境(場や用具)デザイン

フィードバック(ふり返りと評価)デザイン

I 単位時間の基本的な流れ

白帽子、あご紐、シャツの ズボンイン, 靴紐, かかと等

- ① 集合,身支度,心構えをして元気に挨拶 (運動に合わせた集合場所,隊形で起立して挨拶)
- ② 心と体のスイッチオン!(体ほぐし・予備的な運動)
- ③ 課題確認,活動の見通し
- ④ 活動 I (協働学習,チームでの練習と対戦・演技づくり等) 認知的学習場面(課題解決に向けて集合し情報共有,工夫) 活動2 (認知的学習で焦点化・共有化した内容を意識)
- ⑤ ふり返り,次時の活動の見通し,元気に挨拶

公開授業

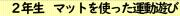
たのしい できそう いっしょにもっと!運動好きな十津っ子

|年生 鬼遊び クラスの点がアップしたね やったあ!!

レッツ トライ ダンシング!

ニピタッ!

4年生 リズムダンス







日々の子ともの姿から、「主体的・対話的て深い学び」の姿を考えましょう。具体の姿をイメーシして授業に臨むことが大事です。

3年生 多様な動きをつくる運動





講演「体育科における主体的・対話的で深い学び」

講師:スポーツ庁政策課 塩見英樹 教科調査官

『安全』という 楽しくて 身に付く 体育科の創造を

125名のご参加が

対話的な学び

input output 思考

どうやってやるの? 3課題解決の

ための知識

もっと新しい技に 挑戦したい!

②技能 できた! こうやればできる! 4表現

こうするんだよ。 昨日よりよくなった!

運動の楽しさや

深い学び

豊かなスポーツライフを実現するための 資質・能力の育成

運動って. 体力の向上に つながるんだね マット運動は.

跳び箱の楽し さと似てるね

運動には、「する・見る・ 支える・知る」という 楽しさもあるんだね

> コンピテンシ-資質·能力

見方・考え方

マット運動(という内容)を とことん楽しむ

コンテンツ

【予告】 令和3年度中・四国小学校体育研究大会は、高知市立十津小学校を会場に開催される予定です。

「キャリア教育の要としての特別活動の推進-3つの生き方を育て,今と未来をつなぐ-」 講師:國學院大學 杉田 洋 教授



「学習指導要領解説 総則編」には,特別活動はキャリア教育の要であるこ とが明記されています。「特別活動編」には,特別活動の役割は,学校におけ る集団活動や体験的な活動を通して、各教科や道徳等で身に付けた力を、実際 の生活において生きて働く汎用的な力とするための人間形成の場であるとして います。目的的、能動的、自覚的に学ぶ・働く・生きる姿を実現しませんか。

学習指導要領(前文)

拓くことができる

できる

○ あらゆる他者を価値

のある存在として尊重

○ 一人一人の児童生徒が, 自分のよさや可能性を認 識し,豊かな人生を切り

特別活動が育成を目指す 資質·能力の三つの視点

道徳教育の内容項目 生徒指導の三機能 と両輪で.

を生かし.

自己決定の場

共感的人間関係

道徳的実践の指導 問題の未然防止

自己実現

なりたい自分を目指し 自分らしく生きる

自分自身

との関わり を与える

人間関係形成

多様な他者と違いを超 えて共に生きる

集団や社会

との関わり

を築く

社会参画

学校(社会)の形成者 として役割を果たしな がら生きる

他者

との関わり

自己存在感

を与える

変化を乗り越え,持続 可能な社会の創り手と

○ 多様な人々と協働し

ながら、様々な社会的

なることができる

「前文」と特活のねらいが重なっている。道徳も生徒指導も関連している。

特別活動の充実で、基礎的・汎用的な能力を育成しましょう!

「一人一人のキャリア形成と自己実現」の授業の充実と、 決定"が反映されているキャリアパスポートを活用しましょう。

★ 自己実現の資質・能力の育成のプロセスを重視した, 「意思決定+努力=自己効力感」を意識しましょう。↓

「私たちの課題をつかす」ト「さぐる」ト「見付ける」ト「私の解決策を決める」

★ 自治的な活動や学校行事等の体験的な活動を通して、人間関係形 成や社会参画の資質・能力を育成しましょう。↓

「**私**は,で出し合う」 ▶ 「分かり合う」 ▶ 「比べ合う」 ▶ 「**私たち**にとって,を決める」

- ★ 褒める,励ます,を指導の基調にしましょう。
- ★ 自己有用感に裏付けられた自尊感情を育てましょう。
- ★ 期待し、要求し、見取って、価値付けする…しているか確認!

★ 意思決定の大切さを図で 考えよう (出典:東北大学加齢医学研究所)

成績最高群はどの

グループ? (答えは下) 外太 AD Ad 的 動 機 aD ad 付 け小

内的動機付け

aD:保護者の要求が小さく. 子どものやる気が高い

★うぬぼれではなく、他者によって磨かれる 健全な自尊感情

自分へ

の自信

自己肯定感

• 自分が好き

• 自分にはよい ところがある

自分はこえに いていい

自分は価値ある人間 自己存在感 自己効力感

自分にはできる 自分はやれば

> できる 自分は役に

立っている 自分は必要と

されている 自己有用感

自立(自律と成長,自己実現) **共生**(差異の受け入れ,社会参画)認め合い・支え合うカ

■ 特別活動にしかない「合意形成」「意思決 定」、AIが急速に進展する中での学校教育が 担う役割について考えさせられた。教師が大 切にしなければならない「人としての成長のた めの特活」をしっかり学び、生かしていきたい。

学校で学ぶ意味、人は人の中で成長すると いうこと、子どもの学びを支援できる喜びを感じ ることができた。

特別活動に関して印象に残ったのは、特活 は意思決定を伴う活動が大変重要であるとい うことだ。特に、合意で得られたことが、必ずし も最適解ではなく、納得解であることを児童に 頑張る力・生き抜く力 知らせておきたい。競争や比較ではなく、自尊 心を育てる活動をしていきたい。

(精速不驚丸: bs/精型最繁丸: bA/る&なとこる内市と、キホ、精液過繁丸: (A) てトモ(bs/精高量繁カ【文容】

受講

者

5